

令和6年度 第3回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月11日（金） 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 CS ルーム
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、村松 幸男、伊藤 文雄、藤原 四郎（学校支援コーディネーター）、鈴木 里佳（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 石野 和彦、清水 淳子、長谷川 真利子
- 5 学 校 柳瀬 美穂（校長）、倉田 智幸（教頭）、徳井 雅子（主幹）
太田 正之（CS 担当教職員）、片山 里紗（CS ディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 協議事項
 - （1）授業参観の感想等
 - （2）子供の主体性や表現力の育成について
 - （3）学校支援活動について
 - （4）CS 便りにについて
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 片山 里紗

9 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち6人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

委員の方たちには、外国語の授業の様子も参観していただいた。

（1）議長の選出について

議長の選出について、前回の協議会にて、鈴木里佳委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）子供の主体性や表現力の育成について

議長の指示により、校長より資料に基づく説明があった。各委員より、外国語の授業参観の感想等を含めた意見があった。

◆授業参観では、子供の吸収力に感心した。外国人とコミュニケーションをとれた時の喜びが学習意欲につながるだろう。「子供がつくる授業」はいつから実施しているのか。（伊藤会長）

◇本校では昨年度から各教員に提示しているが、全ての授業で実施できるわけではなく、場面ごとで実施している。（校長）

◆子供たちが楽しそうに授業を受けていた。自分たちの時代の学びと違った部分も多く感じると同時に、学校が考える「調整力」などが保護者に伝わることも大事なのではないか。（伊藤文雄委員）

◇知識と理解を定着していく必要があり、両方のバランスが大事である。また、以前の学びと異なる部分も多いため、それを御理解頂き、各家庭で声を掛けてほしい。

(校長)

◆受け身ばかりではない、子供がつくっていく授業は良いと感じた。与えられた宿題をこなすだけでなく、それぞれが興味のある項目に取り組める事は良いが、苦手な科目はどうなるのか、親としては不安な部分もある。(佐々木副会長)

◇子供が苦手な科目も選ぶという「調整力」をつけていきたい。将来、自分で考えて行動できる力を身に付けたい。(校長)

◆授業参観をしてみて、自分たちの時代にはこのような学びはなく、小学校のうちからこういった学びを受けられることは素晴らしい経験になるだろう。タブレット活用に関して、全教科で実施されているのか。(村松委員)

◇教科書の各ページにはQRコードが載っており、タブレットで読み込むと、動画が表示されたり、様々な情報が表示されるような工夫がされている。それを含めると、教科書には膨大な資料が含まれる。子供それぞれが気になった項目を詳しく知ることができ、得意を広げるのには良い。その一方で、苦手な科目を伸ばすことに対しては、まだ課題があるだろう。(校長)

◆子供は苦手なものになかなか取り組まない。意欲のある子とそうでない子の差がついてしまうと同時に家庭環境でも格差がついてしまうのではないか。それと同時に、苦手なものにあえて取り組む「調整力」がつくのかも不安である。(鈴木里佳委員)

◇格差がつきやすい教育であるため、それを補完するためにも、個別支援や必要なクラスへの支援員の配置が必要がある。その中でタブレットは、クイズ形式で問題を提出したり、正解の際は褒める機能があったりと様々な機能があり、個別支援に活用できる機能が多くある。(校長)

(3) 学校支援活動について

議長の指示により、CS 担当職員と CS コーディネーターより、学校支援活動について資料に基づく説明がされた。各活動についての現状報告があり、各委員より、以下の意見等があった。

◆得意・不得意な項目がそれぞれのため、協力できそうな活動に参加していくということの良いだろうか。(伊藤会長)

◇様々な活動の中で得意な活動があれば参加頂くと同時に、地域の方へもお声掛け頂けるとありがたい。(CS コーディネーター)

◆ミシンボランティアの面で、地域にはミシンが得意な方も多いが、ボランティア募集の話が届いていない。(伊藤文雄委員)

◆地域には色々な経験を持った方が多くおり、このようなボランティア募集の情報が行き届くと、もっと学校と地域がつながることができるのではないか。(村松委員)

(4) CS 便りについて

議長の指示により、CS 担当職員より資料に基づき説明がされた。各委員より、以下の意見等があった。

- ◆地域に向けて回覧しているのであれば、町たんけんのことを載せるのはどうか。(伊藤会長)
- ◆回覧を見る人が少ないのかもしれない。目を引く工夫が必要ではないだろうか。(伊藤文雄委員)
- ◇学校の取り組みをお知らせする意味でも、回覧は必要であり、その際、目を引くような工夫が必要であるだろう。(校長)

その他報告事項等

司会の教頭より、次回の協議会は令和7年2月12日(水) 13:30からCSルームで開催する旨、説明があった。また、次回の議長について、鈴木里佳委員を推挙したい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

以 上